

上田染谷丘高等学校オーストラリア研修10日目 (3/17)

Deception Bay SHS

ついに学校最終日となり、午前中は Farewell Party でホストファミリーに渡すプレゼントの準備、英文で手紙を書きました。パーティーには、平日のお昼にもかかわらず、10家族ほどが来てくれました。

セレモニーの始めに、Deception Bay SHS の校長先生から素敵な文化交流になったとのことのお言葉を頂きました。次に挨拶に立った徳田先生からはオーストラリアに来てからの生徒さん方の成長ぶりについてお話しされ、サポートして下さったファミリーや学校の方へ感謝の言葉を述べられました。その後生徒はコーティネーターでもある Sherry 先生から一人一人修了証を渡されました。

その後は、いよいよ歌の披露です。皆さんが歌ったのは「旅立ちの日に」。日本の卒業式の定番曲ですが、こちらで出会った方々へのお別れと、これからの皆さんの未来に向けて歌うにはぴったりの曲となりました。歌の前にはこれがどういった曲なのかと言う説明をし、歌詞を英語に訳したのも出席者にお渡ししましたが、これらはすべて生徒が自ら準備をしました。本番は、今までで一番大きく美しい歌声が響き、皆静かに聞き入っていました。歌い終わると大きな拍手をもらい、生徒たちも一気にほっとした表情に。

その後、バティの中から一人の男子学生が日本語でスピーチをしてくれました。それを受けて、上田染谷丘高校の生徒代表からも英語でメッセージを送りました。素晴らしい挨拶だったわね、と声をかけてくれたホストファミリーの方もいるほど堂々とした挨拶でした。セレモニーの後はケーキやクッキーを食べながら、ホストファミリーやバティと写真を撮ったりおしゃべりをしたりと思い出作りの時間に。バティとはこれでお別れのため、お互いにプレゼントや手紙を交換し合う姿が見られました。当初は視線も合わさず、会話も続かなかった生徒同士が、今では笑顔で写真を取り合い、連絡先を交換し、また必ず会おうと約束をしていました。学校を去る際には、先生から“今まで色々な学校が来たけれどあなた達は最高の生徒だったよ”との言葉を頂きました。



Ferny Grove SHS

本日は学校最終日です。バティや新しく出会った友達と過ごせるのも今日が最後となってしまうました。モーニングティーの時間まではバティと過ごし、最後の英語のクラスではお世話になった方々への Thank you letter を書きました。その後、残った時間でバティとのお別れ会で披露する歌を再び練習。急遽ギターが借りられたので、それに合わせて何度も練習しました。



お別れ会では学校の方が用意してくれた修了証やプレゼントを頂き、バティと一緒に軽食を楽しみました。中にはプレゼントを用意してくれたバティも。寂しいけど楽しいけど…という複雑な心境です。学校の校長先生からは“来てくれてありがとう、バティにとっても学校にとっても素晴らしい経験だった”とお話を頂きました。

一生懸命練習した歌は、披露しながら涙ぐむ生徒さんもいらっしゃいました。歌声はとても綺麗で、ハーモニーの途中には、“なんて綺麗なの！”という声も聞かれ大成功。その後、写真を撮ったり連絡先を交換したり…。先ほどの授業で用意した Thank you letter もしっかり渡せました。

ホストファミリーがお迎えに来てくれた後、それぞれのファミリーと近くの公園で集まり、今度はホストファミリーとのお別れ会です。ほとんどのファミリーが参加してくれ、とても温かいものになりました。また、予定はしていませんでしたがバティとのお別れ会で素晴らしかったので、アカペラで歌も披露。ホストファミリーもビデオや写真を撮って嬉しそうに聞いて下さり、子どもの晴れ舞台を見ているような表情に。2週間という短い期間で、本当の親子になったようでした。その後コーディネーターのシャノンさんから修了証やプレゼントをもらい、最後のコメントも頂きました。“今までの生徒さんの中で一番でした”とお話にファミリーも嬉しそう。少し照れくさそうな生徒さんでした。

